

人材

働きやすい環境の整備

当社は、従業員・職場の「健康支援」と「働き方改革」を両輪として、企業の最も大切な財産の一つである「働く人」が最大限に能力を発揮し、活躍できるように取り組んでいます。

健康支援への取り組み

田辺三菱製薬では、コロナ禍による行動自粛やテレワーク勤務の急速な拡大により身体活動量が低下している従業員の把握やその対策に取り組んでいます。

腰痛、肩こり、VDT症候群*などの症状が見られたテレワーク勤務者向けに、アプリを用いた腰痛・肩こり改善プログラムを提供するほか、自宅のテレワーク環境についてのオンライン研修会や個別相談会を実施しました。アプリを用いた腰痛・肩こり改善プログラムでは、導入前後で自覚症状の数が減り、相談会での参加者満足度は5点満点中4.7点という高い満足度となっています。

また、日本酸素ホールディングス傘下の大陽日酸では、従業員に、健康や生活習慣病の予防への意識を高めてもらえるよう、健康測定会の実施、健康ニュースの配信、ウェビナーを用いた健康プログラムなどの取り組みを行っています。ウェアラブルデバイスを配付し、運動の習慣や睡眠時間を見える化して健康管理システムへ連携することにより、過去の検診データと併せて検証できるようにしました。

この結果、運動習慣者比率が25.5%から30.6%に向上しました。毎年、各種施策を実施することで、前年との比較が可能

となり、自分の身体の状況の今を把握できています。

このような取り組みを進める中で、田辺三菱製薬と大陽日酸は、経済産業省が推進し、日本健康会議が認定制度を運用する「健康経営優良法人～ホワイト500～」(大規模法人部門)に認定されました。

今後も従業員の健康保持・増進に取り組む、従業員一人ひとりのパフォーマンスの向上や組織の活性化を推進していきます。

* パソコンなどのディスプレイを用いて長時間作業を行った人の心身にさまざまな不調が現れる症状



新しい働き方への取り組み

コロナ禍によって一気に加速した多様な働き方に対応するため、当社では、組織横断的に「業務改革プロジェクト」を立ち上げ、ペーパーレス化、デジタルツールの活用、業務プロセスの改善・効率化などに取り組んでいます。このほか、電子承認システムの導入や、自宅やサテライトオフィスを快適な業務環境にするための提案を本プロジェクトから行い、リモートワークを促進しています。

また、東京の当社周辺の拠点を集約し、新しい働き方に合わせたオフィスとしてレイアウトを変更しました。ABW (Activity

Based Working) というコンセプトのもと、フリーアドレスを導入し、その日の業務に応じて、働く場所を選択できるデザインを採用しています。このオフィスと、自宅でのテレワーク、サテライトオフィスを組み合わせながら、より効率的に時間と場所を自分自身で選択する、自律的でワーク・ライフ・バランスにも配慮した働き方を実現していきます。



本社ではABWを促進させるレイアウトを導入

新たなオフィスコンセプト

